

2014 年度前期

# 授業改善アンケート結果について

システムデザイン学部・研究科FDニュース No. 9

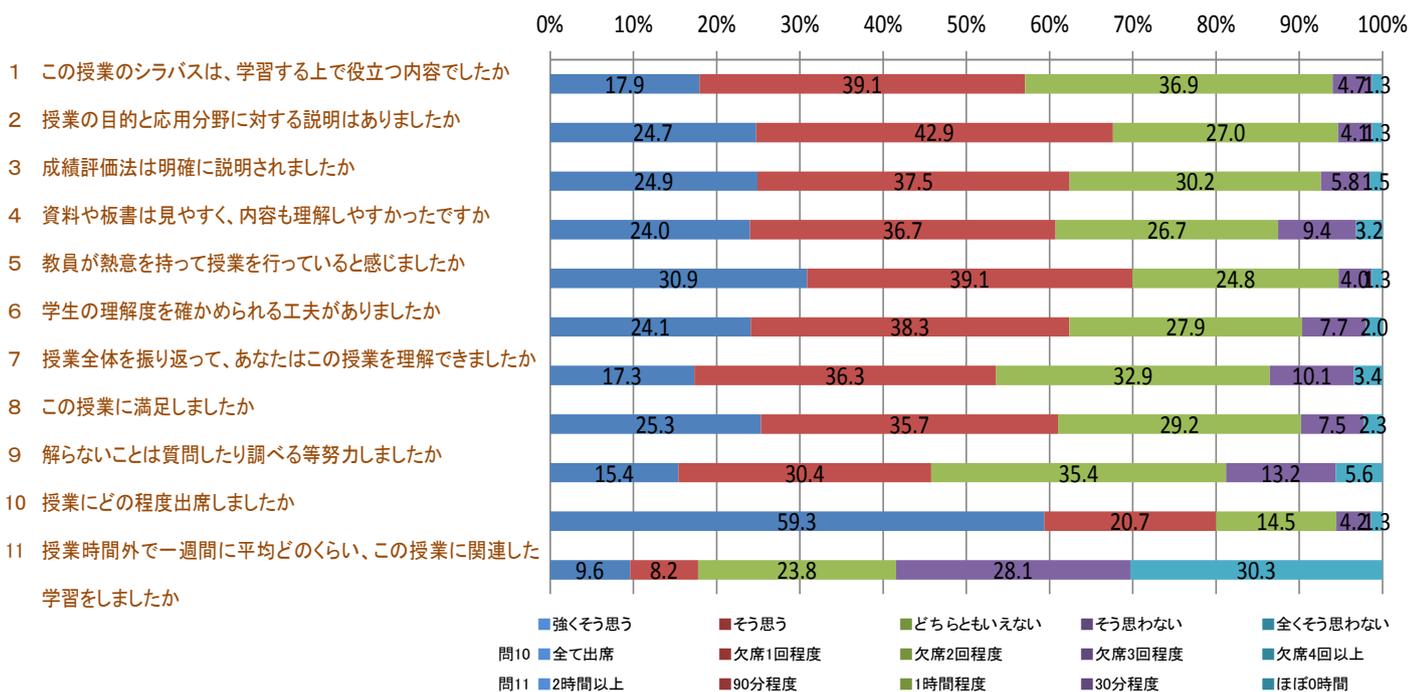
《 学生の皆さんへ 》 システムデザイン学部・研究科では 2014 年7月1日～8月1日の期間、学部と研究科で前期に開講された講義科目を対象に授業改善アンケートを実施しました。今回も多くの学生の皆さんに回答していただきました。

## ご協力大変ありがとうございました。

アンケートの集計ができましたので、その集計結果の概略をお知らせします。  
詳しくはシステムデザイン学部 HP に掲載されています。そちらもご覧ください。

### システムデザイン学部

(開講授業科目数 78 のうち 69 科目からの回答)



### ▶ 学生の皆さんから、こんな意見がありました

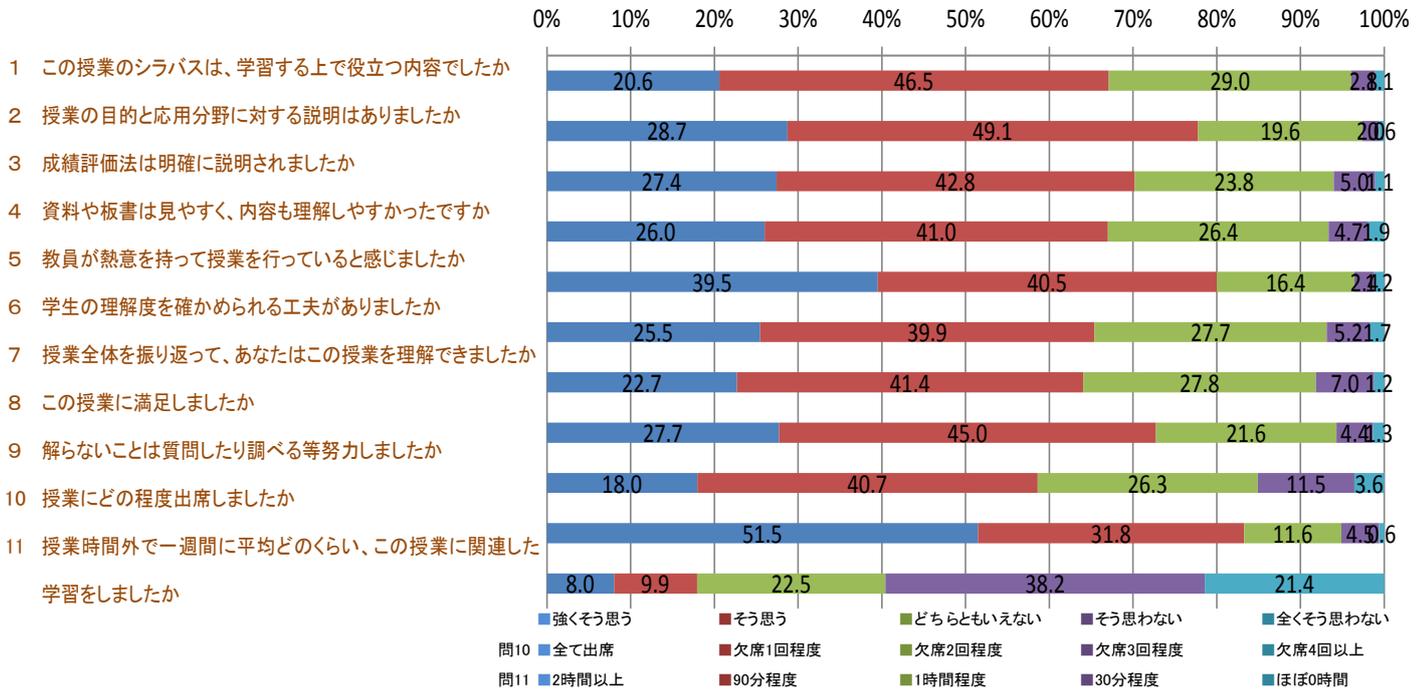
- ・ 授業で行う内容を、まず課題に取り組んでから説明されていたので頭に入りやすかった。
- ・ ポイントをふり返ってくれるので授業についていきやすかった。
- ・ レジュメなど話の流れがわかるものが欲しかった。

### ▶ 授業担当者からのコメント

- ・ 教科書の準備を行う。
- ・ 基礎学力不足。行列計算は高校で習っているのに出来ない。

## システムデザイン研究科

(開講授業科目数 38 のうち 34 科目からの回答)



### ▶ 学生の皆さんから、こんな意見がありました

- ・ 毎回理解度を確かめるような工夫(一言書くみたいな)があったので良かったです。
- ・ 情報量が他の授業の倍はあったと思う。そこから学べることも多かった。
- ・ 今まで英語の論文は斜め読みしかしたことがなかったが、しっかり読み込むきっかけになった。

### ▶ 授業担当者からのコメント

- ・ 多くの事例紹介を行い、多角的な観点から説明を行っている。
- ・ 毎回授業内容のわかり易さを評価し、プレゼンテーション内容の改訂を実施している。

### システムデザイン学部・研究科 FD 部会から

2014 年度前期授業改善アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。例年同様の高い回収率(学部:88.5%、研究科:89.5%)でデータを得ることができました。これらのアンケート結果は回答者個人が特定できないような形に処理された上で、個々の教員にフィードバックされ、教育状況の把握と授業改善の参考に利用されています。前年度に比べアンケートの全ての項目でポイントが上昇しており、学生の皆さんからの声が授業の改善に活かされています。一方で項目 9 にある自分で分からない点を調べる姿勢は平均ポイントが低く、授業を受けるのみではなく皆さん自身で調べることや先生に質問するなど自立した能動的な取り組みも必要です。後期もアンケート実施を予定しておりますので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

#### FD(ファカルティ ディベロップメント)とは

あまり聞きなれないと思う方がまだ多いのでは。起源は米国にあり、日本では「教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称」とされています。

首都大学東京  
システムデザイン学部・研究科 FD 部会  
2014 年 12 月 18 日